



環境経営レポート 2024年度

(対象期間：2024年 3月 1日 ～ 2025年 2月28日)



本社・広島工場

創立50周年記念で植樹したヤマボウシに白い花が咲きました。
花言葉は、「友情」です。



デリカウイング株式会社

作成日 2025年4月25日

改定日

目次

項目	ページ
代表者あいさつ	3
環境経営方針	4
組織の概要・事業案内	5～6
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	7～8
全社の環境負荷の実績	9～10
環境経営目標及びその実績	11
各工場の活動内容	12～25
環境経営計画の取組みと結果とその評価、次年度の計画	26～30
環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無	31～32
代表者による全体の評価と見直し・指示	33

代表者あいさつ

当社は、コンビニエンスストア向けの弁当・おむすび・惣菜・調理パン・デザート等の製造・提供を通じて、お客様の食生活を支える事業を展開しております。2024年度は、売上回復の遅れや原材料価格の高騰といった厳しい経営環境に直面する中で、ロス削減への取り組みを強化し、経営の安定化に努めました。また、エネルギー原単位の悪化という課題にも真摯に向き合いました。

そのような中においても、当社は環境負荷低減への責任を果たすべく「エコアクション21」を推進し、納品先企業の環境目標の達成にも積極的に貢献しました。効率的なエネルギー利用への取り組みを継続することで、環境への影響を最小限に抑える努力を重ねております。

「買ってみたい・食べてみたい・買ってよかった・また買いたい」と思っただけの商品づくりを理念に掲げ、環境への配慮と品質向上の両立を追求し、持続可能な企業としての社会的責任を果たしてまいります。

今後も「エコアクション21」に積極的に取り組み、2025年度も持続可能な成長と社会的価値の創出を目指してまいります。皆様のご期待にお応えできるよう、全社一丸となって邁進してまいります。

代表取締役社長

河野 充志



環境経営方針

デリカウイング株式会社は経営理念である『HAPPY TOGETHER』（セブン-イレブンのお店様やお客様・仕入先や地域の方々までの幸せを実現する）を念頭に置き、すべての従業員が地球規模の環境保全に貢献する活動を展開、推進します。



環境経営方針

1. 環境負荷の低減

変化への対応と基本の徹底を基軸としA B C D運動を実施し、省エネルギー、原材料ロスの削減、食品廃棄物の削減を推進し、環境負荷の低減を続けます。

- A：「当たり前」のことを、
- B：「ビックリ」するほど、
- C：「ちゃんと」するのが、
- D：「デリカウイング」の仕事です！

2. 循環型社会の形成

食品廃棄物及びその他廃棄物のリサイクルに努め、循環型社会の形成に貢献します。

3. 環境への配慮

環境問題に対する意識の向上を図り、環境に配慮した機械設備や備品等の購入を推進します。

4. 法令順守

環境関連法規制等を順守して環境保全活動に努めます。

5. 地域との共存

環境保全活動に積極的に取り組み、地域社会との良好なコミュニケーションを図ります。

「地産地消(笑)」は、消費者の食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取り組みです。

- ①地域で馴染みのあるメニューの開発
- ②地域で消費の高い原材料の取り組み
- ③地域で生産されている原材料メーカーとの取り組み



6. 社外公表・周知

環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境活動レポートを公開します。

制定日 2020年 3月 1日
デリカウイング株式会社 代表取締役社長 河野 充志

組織の概要・事業案内

(1) 事業者名及び代表者氏名

事業者名 デリカウイング株式会社

代表者氏名 代表取締役社長 河野 充志

創業 昭和46年11月（1971年）

資本金 1億円

(2) 所在地

本社・広島工場	広島県廿日市市宮内工業団地2-5
岩国工場	山口県岩国市田原266-3
デザート工場	広島県廿日市市宮内工業団地1-2
東広島工場	広島県東広島市吉川工業団地11-9

(3) 認証・登録の事業所、事業内容

対象事業所 本社・広島工場、岩国工場、デザート工場、東広島工場

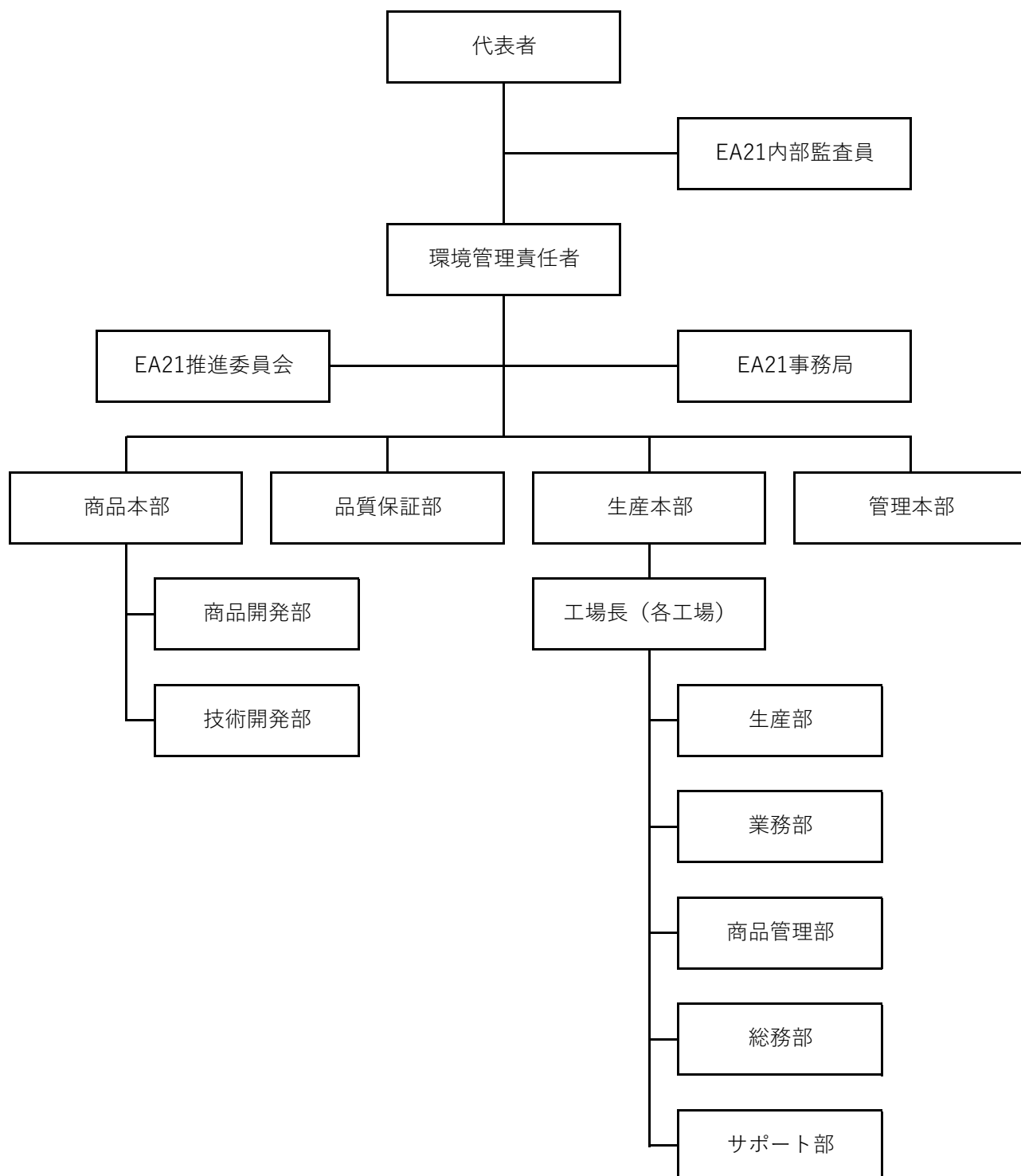
事業内容 コンビニ向け弁当、おむすび、調理パン、お好み焼き、
惣菜、軽食、デザート（洋菓子・和菓子）の商品開発及び製造

(4) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

事務局	管理本部 岡坂 和政
連絡先	電話 (0829)39-4411
	FAX (0829)39-4410
	E-mail honsya@dwing.co.jp
	ホームページ http://dwing.co.jp/

(5) 事業年度 2024年 3月 1日 ～ 2025年 2月28日

環境経営組織図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限表

	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者 (代表取締役社長)	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し ・ 環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直し、指示 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・ 環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・ 環境活動の取組み結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
E A 21事務局	・ 環境管理責任者の補佐 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
E A 21推進委員会	・ 環境経営計画の審議 ・ 環境活動実績の確認・評価 ・ 環境経営レポートの確認
各工場長	・ 自部（工場）における環境経営方針の周知 ・ 自部（工場）の社員、パートナーに対する教育訓練の実施 ・ 自部（工場）に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・ 自部（工場）に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・ 自部（工場）の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・ 試行・訓練を実施、記録の作成 ・ 自部（工場）の問題点の発見、是正、予防処置の実施
E A 21内部監査員	・ 環境に関する内部監査の計画 ・ 環境に関する内部監査の実施・報告
全社員・定時社員	・ 環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

全社の環境負荷の実績

項目	単位	2019年度 基準年度	2024年度			2025年度	2026年度
			目標	実績	目標比率	目標	目標
二酸化炭素総排出量（調整後）	t-CO ₂	18,277	13,479	12,956	96.1%	13,511	13,774
食品廃棄物							
食品廃棄物等の発生量	t	2,758	2,013	1,840	91.4%	1,739	1,762
食品廃棄物等の発生抑制の実施量	t	0	0	0	—	—	—
食品循環資源の再生利用の実施量	t	2,758	2,013	1,840	91.4%	1,739	1,762
食品循環資源の熱回収の実施量	t	0	0	0	—	—	—
食品廃棄物等の減量の実施量	t	0	0	0	—	—	—
食品循環資源の再生利用等以外の実施量	t	0	0	0	—	—	—
食品廃棄物等の廃棄物としての処分の実施量	t	0	0	0	—	—	—
食品循環資源の再生利用等の実施率	%	100	100	100	—	100	100
同上の基準実施率（食料品製造業）	%	95	95	95	—	95	95
主な廃棄物排出量							
廃プラスチック類	t	922	717	666	92.9%	691	705
排水量	千 m ³	371	353	339	96.0%	352	360

（２）電気のCO₂排出係数について

項目	単位	2019年度 基準年度	2024年度		2025年度	2026年度
			目標	実績	目標	目標
中国電力 基礎排出係数（メニューH（残渣））	t-CO ₂ /千kWh	0.618	0.537	0.520	0.520	同左
中国電力 調整後排出係数（メニューH（残渣））	t-CO ₂ /千kWh	0.636	0.551	0.520	0.520	同左
中国電力 調整後排出係数（メニューA）	t-CO ₂ /千kWh	—	0.000	0.000	0.000	同左

（３）ガス燃料関係のCO₂排出係数について

項目	CO ₂ 排出係数
都市ガス（広島ガス 13A）	2.24 t-CO ₂ /千m ³
LPGガス	3.00 t-CO ₂ /千kg
灯油	2.49 t-CO ₂ /千ℓ
ガソリン	2.29 t-CO ₂ /千ℓ
軽油	2.62 t-CO ₂ /千ℓ

※二酸化炭素はCO₂と化学式で記載しています。

2023年4月から電気使用量の30％はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。 標記はCNと致します。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

全社の環境負荷の実績

(4) 二酸化炭素排出量の削減

期間：2024年3月1日～2025年2月28日

項目	単位	使用量・排出量
生産数量	百万個	106
二酸化炭素排出量	t-CO ₂	12,903
電気 使用量	千kWh	12,893
排出係数 0.520 二酸化炭素排出量	t-CO ₂	6,704
都市ガス 使用量	千m ³	1,609
排出係数 2.240 二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,604
L P ガス 使用量	千kg	773
排出係数 3.000 二酸化炭素排出量	t-CO ₂	2,319
灯油 使用量	千ℓ	11
排出係数 2.490 二酸化炭素排出量	t-CO ₂	27
自動車（ガソリン） 使用量	千ℓ	26
排出係数 2.290 二酸化炭素排出量	t-CO ₂	60
自動車（軽油） 使用量	千ℓ	72
排出係数 2.620 二酸化炭素排出量	t-CO ₂	189

(5) 食品廃棄物等の発生抑制及び食品循環資源の再生利用等実施率の向上

期間：2024年4月1日～2025年3月31日

項目	単位	実施量
①発生量	t	1,834.7
②発生抑制量	t	
③再生利用量	t	1,834.7
(1)肥料	t	815.2
(2)飼料	t	522.2
(3)炭化の過程を経て製造される燃料及び還元剤	t	25.4
(4)メタン	t	471.9
④熱回収量	t	
⑤減量量	t	
⑥再生利用等以外の量	t	
⑦廃棄物としての処分量	t	
再生利用実施率	%	100

(6) 水使用量の削減

期間：2024年3月1日～2025年2月28日

項目	単位	使用量
給水量	千m ³	394

(7) 化学物質使用量の削減

期間：2024年3月1日～2025年2月28日

項目	単位	使用量
対象物質の全社合計	kg	3,138

環境経営目標及びその実績

項目	工場名	排出量・使用量						原単位（百万バック当り）					
		2019年度 基準年度	2024年度			2025年度 目標	2026年度 目標	2019年度 基準年度	2024年度			2025年度 目標	2026年度 目標
			目標	実績	目標比率				目標	実績	目標比率		
単位		百万バック/年			%	百万バック/年							
生産数量	全社	117.57	112.32	106.01	94.4%	110.79	114.12						
	広島工場	46.75	42.54	39.00	91.7%	40.66	41.88						
	岩国工場	23.17	19.36	19.21	99.2%	19.26	19.84						
	デザート工場	34.92	29.79	28.97	97.2%	30.35	31.26						
	東広島工場	12.73	20.63	18.84	91.3%	20.52	21.14						
単位		トン-CO2/年			%	トン-CO2/年		トン-CO2/百万バック			%	トン-CO2/百万バック	
CO2排出量の削減	全社	18,274	13,464	12,623	93.8%	13,060	13,424	155.43	119.87	119.07	99.3%	117.88	116.70
	広島工場	6,415	4,601	4,109	89.3%	4,241	4,325	137.22	108.16	105.36	97.4%	104.31	103.27
	岩国工場	2,906	1,953	2,001	102.5%	1,986	2,025	125.42	100.88	104.16	103.3%	103.12	102.09
	デザート工場	3,012	2,107	2,021	95.9%	2,096	2,137	86.25	70.74	69.76	98.6%	69.06	68.37
	東広島工場	5,942	4,803	4,489	93.5%	4,840	4,937	466.77	232.80	238.27	102.3%	235.89	233.53
単位		kWh/年			%	kWh/年		kWh/百万バック			%	kWh/百万バック	
電気使用量の削減	全社	17,602	18,603	18,407	98.9%	19,044	19,723	149.72	165.63	173.63	104.8%	171.89	170.17
	広島工場	5,394	5,616	5,400	96.2%	5,574	5,684	115.38	132.02	138.46	104.9%	137.08	135.71
	岩国工場	2,815	2,655	2,810	105.9%	2,789	2,844	121.49	137.12	146.28	106.7%	144.82	143.37
	デザート工場	3,295	3,195	3,215	100.6%	3,335	3,400	94.36	107.24	110.98	103.5%	109.87	108.77
	東広島工場	6,098	7,137	7,088	99.3%	7,643	7,795	479.03	345.94	376.22	108.8%	372.46	368.74
単位		千㎡/年			%	千㎡/年		千㎡/百万バック			%	千㎡/百万バック	
都市ガス使用量の削減	3工場合計	1,776	1,627	1,609	98.9%	2,032	1,736	18.81	17.50	18.53	105.9%	18.34	18.16
	広島工場	449	384	362	94.3%	374	381	9.60	9.02	9.28	102.9%	9.19	9.10
	デザート工場	408	372	379	101.8%	393	401	17.61	12.50	13.08	104.6%	12.95	12.82
	東広島工場	919	871	868	99.6%	936	954	26.32	42.23	46.07	109.1%	45.61	45.15
単位		kg/年			%	kg/年		kg/百万バック			%	kg/百万バック	
LPガス使用量の削減	2工場合計	1,023	798	773	96.9%	1,457	800	14.63	12.89	13.28	103.0%	13.15	13.02
	広島工場	652	496	442	89.2%	456	465	13.95	11.65	11.33	97.3%	11.22	11.11
	岩国工場	371	302	331	109.7%	329	335	16.01	15.59	17.23	110.5%	17.06	16.89
単位		トン/年			%	トン/年		トン/百万バック			%	トン/百万バック	
食品廃棄物（産廃）の削減	全社	2,026	1,482	1,301	87.8%	1,292	1,344	17.23	13.19	12.27	93.0%	11.66	11.54
	広島工場	454	235	216	91.8%	214	218	9.71	5.53	5.54	100.2%	5.26	5.21
	岩国工場	596	389	373	95.9%	355	362	25.72	20.08	19.42	96.7%	18.45	18.27
	デザート工場	348	276	239	86.6%	238	243	9.97	9.26	8.25	89.1%	7.84	7.76
	東広島工場	628	582	473	81.2%	510	520	49.33	28.23	25.11	88.9%	24.86	24.61
廃プラスチック（産廃）の削減	全社	922	717	666	92.9%	689	705	7.84	6.38	6.28	98.4%	6.22	6.16
	広島工場	329	243	228	93.7%	235	240	7.04	5.72	5.85	102.3%	5.79	5.73
	岩国工場	193	139	137	98.3%	136	139	8.33	7.20	7.13	99.0%	7.06	6.99
	デザート工場	198	124	115	92.6%	119	122	5.67	4.17	3.97	95.2%	3.93	3.89
	東広島工場	202	211	186	88.1%	200	204	15.87	10.23	9.87	96.5%	9.77	9.67
単位		千㎡/年			%	千㎡/年		千㎡/百万バック			%	千㎡/百万バック	
排水の削減	全社	371	353	339	96.0%	351	360	3.16	3.14	3.20	101.8%	3.17	3.14
	広島工場	109	104	92	88.3%	95	97	2.33	2.45	2.36	96.3%	2.34	2.32
	岩国工場	112	94	89	94.8%	88	90	4.83	4.85	4.63	95.5%	4.59	4.54
	デザート工場	35	32	36	110.9%	37	38	1.00	1.09	1.24	114.0%	1.23	1.22
	東広島工場	115	123	122	99.1%	132	134	9.03	5.97	6.48	108.5%	6.41	6.35

環境経営目標は原単位目標に基づいている。

2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

広島工場の活動



敷地面積	10,378.44㎡	延床面積	7,391.06㎡
製造品目	弁当・おにぎり	生産能力	31万食／日
主要設備	炊飯ライン 60釜／時 2基		
従業員数	603名（2025年3月末時点）		

工場の主な環境負荷の実績

項目		単位	2019年度 基準年度	2024年度			2025年度	2026年度
				目標	実績	目標比率	目標	目標
生産数量		百万パック	46.76	42.54	39.00	91.7%	40.66	41.88
CO2排出量		t-CO2	6,420	4,632	4,234	91.4%	4,367	4,451
電気	使用量	千kWh	5,394	5,616	3,780	67.3%	5,574	5,684
	CN電気使用量	千kWh	—	1,685	1,620	96.1%	1,672	1,705
	CO2排出量	t-CO2	3,431	2,170	1,966	90.6%	2,029	2,069
都市ガス	使用量	千㎡	449	384	362	94.3%	374	381
	CO2排出量	t-CO2	1,008	862	811	94.1%	837	854
L P ガス	使用量	千kg	652	496	442	89.1%	456	465
	CO2排出量	t-CO2	1,956	1,468	1,326	90.3%	1,369	1,396
灯油	使用量	千ℓ	10	10	10	100.0%	10	10
	CO2排出量	t-CO2	25	25	25	100.0%	25	25
ガソリン	使用量	千ℓ	未把握	17	17	100.0%	17	17
	CO2排出量	t-CO2	—	39	39	100.0%	39	39
軽油	使用量	千ℓ	未把握	26	26	100.0%	26	26
	CO2排出量	t-CO2	—	68	68	100.0%	68	68
食品廃棄物	発生量	トン	514	294	245	83.3%	243	247
	動植物性残さ	発生量	トン	454	216	91.9%	214	218
	廃油	発生量	トン	60	29	49.2%	29	29
	食品廃棄物リサイクル	リサイクル率	%	100	100	100.0%	100	100
産業廃棄物	廃プラスチック類	発生量	トン	329	228	93.8%	235	240

2023年4月から電気使用量の30％はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

広島工場の活動

電気による二酸化炭素削減			7 二酸化炭素削減 削減率向上	13 環境負荷低減 削減率向上
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	生産終了後の生産機器電源OFF 並びに不要照明の消灯	○	意識付けによりOFFする事が浸透してきた。 OFFする習慣化と照明半消灯を推進する デマンド監視装置を活用し電力低減に取組む。	
	月1回、冷蔵冷凍庫の整理整頓と冷蔵庫フィルター清掃実施(テストキッチン)	○		
ガス燃料による二酸化炭素削減 ※ガス燃料とは「都市ガス・LPGガス」			7 二酸化炭素削減 削減率向上	13 環境負荷低減 削減率向上
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	ボイラーの燃焼稼働調整実施	○	都市ガスボイラーとLPGボイラーの燃焼状況 や契約使用量、補助金等々を勘案し調整実施。 今後も取り巻く環境に熟慮し調整を図る。 フライヤー1台、ジェットオープン2台の稼働 停止。継続して稼働機器を厳選し取組む。	
	不要機器の電源OFF (フライヤー、ジェットオープン)	○		
排水量の削減			6 排水量削減 削減率向上	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	朝礼、掲示物による意識向上	○	巡回や教育、朝礼等で節水を喚起。 次年度も継続活動し、水漏れ修理も早期対応を 行う。	
	節水の呼び掛けと水漏れ修理	○		
プラスチック類（産廃）の削減			12 二酸化炭素削減 削減率向上	14 環境負荷低減 削減率向上
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	製造時の衛生シート使用量の削減	△	削減の一環でシートサイズ変更。 結果として排出量は目標を達成したが原単位は 至らなかった。 各部署、継続して分別廃棄を推進する。	
	分別廃棄の徹底	△		
食品廃棄物（産廃）の削減			12 二酸化炭素削減 削減率向上	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	生産指示の厳守 (生産工程で生じるロス削減)	○	分別廃棄の徹底と押さえてコンパクトに 廃棄する推進を実施。 社販も推進し生ゴミ排出削減を実施。 プロジェクトでの継続取組みも実施。 結果として目標より削減できた。	
	食品残渣発生量の定期的な周知や 注意喚起の継続と分別廃棄の徹底	○		

広島工場 E A 2 1 事務局

広島工場の活動

(1) 工場周辺の清掃を継続 !!

環境美化活動及び地域貢献活動として、今年度も6回実施（奇数月）

回収した**ごみ**は合計で約**32kg**。すべて分別廃棄処分しました。

※工場法面の草刈り作業も状況確認しながら数回実施



(2) 水、ガス、電気など工場使用量の見える化を継続 !!

従業員が休憩するラウンジ入口に、モニターで工場生産設備の稼働状況や水、ガスの使用量表示を継続。電気**の一日使用量**や**最大需要電力値**を掲示。



広島工場 E A 2 1 事務局

広島工場の活動

(3) 子どもたちの『心の元気』を取り戻したい！

当社は地域貢献、地元へのボランティア活動を積極的に行っています。

今年度も不登校支援センター様の子どもたちが、広島工場見学＆商品開発体験会に参加してくれました（引率者は先生方と社会課題解決を研究する大学生）

デリカウイングは今後も不登校支援センター様と社会課題に取り組んでまいります。



商品開発体験会では、ワイワイ楽しく
ハンバーガーづくりを体験。

子どもたちの保護者さまからも
感謝のが届いています。



広島工場 E A 2 1 事務局

岩国工場の活動



敷地面積7,505.19㎡延床面積3,023.93㎡

製造品目サンドイッチ・惣菜・軽食

生産能力12万食／日

従業員数414名（2025年3月末時点）

工場の主な環境負荷の実績

項目			単位	2019年度 基準年度	2024年度			2025年度	2026年度
					目標	実績	目標比率	目標	目標
生産数量			百万パック	23.17	19.36	19.21	99.2%	19.26	19.84
CO2排出量			t-CO2	2,905	1,993	2,089	104.8%	2,074	2,114
電気	使用量	千kWh	2,815	2,655	1,967	74.1%	2,789	2,844	
	CN電気使用量	千kWh	—	797	843	105.8%	837	853	
	CO2排出量	t-CO2	1,790	1,026	1,023	99.7%	1,015	1,036	
L P ガス	使用量	千kg	371	302	331	109.6%	329	335	
	CO2排出量	t-CO2	1,113	894	993	111.1%	986	1,005	
灯油	使用量	千ℓ	1	0	0	—	0	0	
	CO2排出量	t-CO2	2	0	0	—	0	0	
ガソリン	使用量	千ℓ	未把握	1	1	100.0%	1	1	
	CO2排出量	t-CO2	—	2	2	100.0%	2	2	
軽油	使用量	千ℓ	未把握	27	27	100.0%	27	27	
	CO2排出量	t-CO2	—	71	71	100.0%	71	71	
食品廃棄物	発生量	トン	1,137	822	850	103.4%	715	720	
	動植物性残さ	発生量	トン	596	389	373	95.9%	238	243
	廃油	発生量	トン	23	20	21	105.0%	21	21
	三斤パン耳・シュー皮	発生量	トン	518	413	456	110.4%	456	456
	食品廃棄物リサイクル	リサイクル率	%	100	100	100	100.0%	100	100
産業廃棄物	廃プラスチック類	発生量	トン	193	139	137	98.6%	136	139

2023年4月から電気使用量の30％はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

岩国工場の活動

電気による二酸化炭素削減			7 二酸化炭素削減 削減率向上	13 環境負荷低減 削減率向上
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	不要照明の消灯	○	作業終了後の消灯活動は継続。生産終了後機器電源OFF定着できず。切忘れあり。次年度は定着できるように、終了後の見回り含め徹底していく	
	不要機器の電源OFF徹底	△		
ガス燃料による二酸化炭素削減 ※ガス燃料とは「都市ガス・L P ガス」			7 二酸化炭素削減 削減率向上	13 環境負荷低減 削減率向上
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	不使用機器の電源OFF	△	蒸気の使用の多い容器洗浄機にて、終了後の停止徹底できず。切忘れあり。次年度は定着できるように、終了後の見回り含め徹底していく	
	蒸気漏れ修理	○		
排水量の削減			6 排水量削減 削減率向上	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	節水掲示物の見直し	○	節水掲示物の多言語化実施。野菜処理での生産終了後の確認徹底していく	
	水漏れ箇所の随時修繕	○		
プラスチック類（産廃）の削減			12 二酸化炭素削減 削減率向上	14 環境負荷低減 削減率向上
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	ビニールシート・袋削減	○	衛生シートのサイズ見直し実施。リバック削減の為、機器毎設定一覧見直しし、削減。	
	ラベル・包材・品名シール貼付けミス削減	○		
食品廃棄物（産廃）の削減			12 二酸化炭素削減 削減率向上	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	類似具材・類似原材料の使用間違い防止	○	類似具材・原材料使用防止の為、関連する掲示物掲示。盛付する具材をチェックするシステムを、具材製造側に水平展開して、運用。	
	返品対策	○		

岩国工場の活動

(1) ライナーレスラベラー導入

- ・ラベル（商品情報）を被着体に貼り付ける機器
- ・ラベル巻きにあった台紙をなくした環境配慮型ラベル



★CO2削減

★ゴミ削減

★ラベル使用量の削減（印字内容によって自動カット）

★ラベル交換頻度低減（効率化）

★在庫縮小（管理効率化）

ラベル巻き量のUP

- 台紙がないため1ロールあたりのラベル量がUP
- 適切な長さでラベルをカットすることにより、ラベルの交換頻度が低減



ラベル在庫数の削減

- サイズ毎の管理が不要になり、ラベル在庫が縮小



コストパフォーマンスの向上

- 1ロールあたりのラベル量が多くなることで、ラベルの交換頻度が低減し作業効率をUP
- 印字量にあわせてラベル長さを自動調整するため、ラベル使用量を削減



廃棄物発生抑制

- 台紙がないため、ゴミの廃棄量が削減



『CO2削減量と台紙ゴミ削減量』

ラベル名	ラベル幅 (mm)	ラベル高さ (mm)	ギャップ (mm)	使用枚数	CO2削減量 (t)	台紙削減量 (t)
サンド・ロール	60	82	5	8,508,223	8.95	2.52
惣菜	60	60	5	7,802,386	5.19	1.46
					16.3	4.6

(2) 環境美化清掃活動

会社の周囲の環境美化活動及び地域貢献活動として、
公会堂前清掃実施しました



岩国工場 E A 2 1 事務局

デザート工場の活動



敷地面積	8,647.49㎡	延床面積	6,976.74 ㎡
製造品目	洋菓子・和菓子	生産能力	20万食／日
主要設備	シューライン 2,000個／時		
従業員数	4 4 2 名（2 0 2 5 年 3 月 末 時 点）		

工場の主な環境負荷の実績

項目			単位	2019年度	2024年度			2025年度	2026年度	
				基準年度	目標	実績	目標比率	目標	目標	
生産数量			百万パック	34.92	29.79	28.97	97.2%	30.35	31.26	
CO2排出量			t-CO2	3,012	2,071	2,022	97.6%	2,096	2,138	
電気	電気	使用量	千kWh	3,295	3,195	2,251	70.5%	3,335	3,400	
		CN電気使用量	千kWh	－	959	965	100.6%	1,000	1,020	
		CO2排出量	t-CO2	2,096	1,234	1,171	94.9%	1,214	1,238	
都市ガス	都市ガス	使用量	千㎡	408	372	379	101.9%	393	401	
		CO2排出量	t-CO2	916	835	849	101.7%	880	898	
ガソリン	ガソリン	使用量	千ℓ	未把握	1	1	100.0%	1	1	
		CO2排出量	t-CO2	－	2	2	100.0%	2	2	
食品廃棄物		発生量	トン	479	312	268	85.9%	267	272	
		動植物性残さ	発生量	トン	348	276	239	86.6%	238	243
		三斤パン耳・シュー皮	発生量	トン	131	36	29	80.6%	29	29
		食品廃棄物リサイクル	リサイクル率	%	100	100	100	100.0%	100	100
産業廃棄物	廃プラスチック類	発生量	トン	198	124	115	92.7%	119	122	

2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

デザート工場の活動

電気による二酸化炭素削減			7 二酸化炭素削減 削減率向上	13 気候変動に 関係する資源
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	不要照明の消灯	○	生産終了後の照明部分消灯が定着できた。 次年度も部分消灯を継続する。 エアー漏れに関しては、見つけ次第 修理実施。	
	圧縮空気のエアー漏れ修理	○		
ガス燃料による二酸化炭素削減 ※ガス燃料とは「都市ガス・L P ガス」			7 二酸化炭素削減 削減率向上	13 気候変動に 関係する資源
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	蒸気・冷温水配管の保温強化	△	蒸気配管に関して、保温材が腐食した部分の交換 が出来ていない所がある。随時新しい物と交換 していく。 蒸気漏れ修理も見つけ次第修理実施。	
	蒸気漏れ箇所の修理	△		
排水量の削減			6 資源効率向上 水資源削減	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	節水の呼び掛けと水漏れ修理	○	水漏れ箇所に関して、見つけ次第修理実施。 次年度も継続していく。 生産終了後の工場の確認し漏れ確認等を実施 していく。	
	節水シールとポスター掲示	○		
プラスチック類（産廃）の削減			12 資源効率向上 廃棄物削減	14 気候変動に 関係する資源
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	分別の徹底	○	牛乳パック等の回収を開始。 廃プラスチックを昨年比6%削減。 次年度も未回収だったラベルをリサイクルする 準備が進行中。	
	再資源化先の開拓	○		
食品廃棄物（産廃）の削減			12 資源効率向上 廃棄物削減	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	加工ロスの削減	○	生産によるミス等での食品廃棄物が減少。 購買による終売タイミングの在庫管理の 調整実施。生産数量減もあるが昨年比14%減。 次年度も継続していく。	
	在庫管理の強化、不良在庫削減	○		

デザート工場の活動

(1) 工場周辺ボランティア清掃活動実施(1回/2ヶ月)

※法面の状況を確認しながら草刈り作業も年数回実施

回収したゴミは
分別して廃棄！



(2) 紙類の分別・有価引取

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
紙類引取(kg)	760	210	240	430	320	480	350	440	480	360	440	330	4,840
金額(円)	760	210	240	430	320	480	350	440	480	360	440	330	4,840

- ・2024年3月よりコピー用紙・マスク外箱・紙管等の業者引取開始。
- ・2025年6月より、牛乳パックの業者引取開始



・牛乳パックを回収→牛乳パックを開いて洗浄乾燥→梱包→業者引取

- ・2023年度廃プラ 122,820kg ⇒ 2024年度廃プラ 114,820kg 昨年比6%減
- ・2024年度紙類回収 4,840kg

東広島工場の活動



敷地面積 16,502.58㎡ 延床面積 7,229.02㎡

製造品目 お好み焼き・軽食・惣菜・チルド弁当・サラダ

生産能力 12万食／日

従業員数 468名（2025年3月末時点）

工場の主な環境負荷の実績

項目			単位	2019年度 基準年度	2024年度			2025年度	2026年度	
					目標	実績	目標比率	目標	目標	
生産数量			百万パック	12.73	20.63	18.84	91.3%	20.52	21.14	
CO2排出量			t-CO2	5,940	4,783	4,611	96.4%	4,974	5,071	
	電気	使用量	千kWh	6,098	7,137	4,994	70.0%	7,643	7,795	
		CN電気使用量	千kWh	－	2,141	2,094	97.8%	2,293	2,339	
		CO2排出量	t-CO2	3,878	2,758	2,597	94.2%	2,782	2,837	
	都市ガス	使用量	千㎡	919	871	868	99.7%	936	954	
		CO2排出量	t-CO2	2,062	1,955	1,944	99.5%	2,096	2,138	
	L P ガス	使用量	千kg	使用なし	2	2	100.0%	2	2	
		CO2排出量	t-CO2	－	6	6	100.0%	6	6	
	ガソリン	使用量	千ℓ	未把握	5	5	100.0%	5	5	
		CO2排出量	t-CO2	－	11	11	100.0%	11	11	
	軽油	使用量	千ℓ	未把握	20	20	100.0%	30	30	
		CO2排出量	t-CO2	－	52	52	100.0%	79	79	
食品廃棄物			発生量	トン	628	585	477	81.5%	514	524
	動植物性残さ	発生量	トン	628	582	473	81.3%	510	520	
	廃油	発生量	トン	使用なし	3	4	133.3%	4	4	
	食品廃棄物リサイクル	リサイクル率	%	100	100	100	100.0%	100	100	
産業廃棄物	廃プラスチック類	発生量	トン	202	211	186	88.2%	200	204	

2023年4月から電気使用量の30％はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

東広島工場の活動

電気による二酸化炭素削減			7 二酸化炭素削減 削減率向上	13 環境負荷低減 削減率向上
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	トンネルフリーザーの 定期デフロスト実施。	○	トンネルフリーザーの定期デフロストについては 年間を通して実施。庫内温度上昇による生産停止も無し。 加熱機器の始業余熱時間厳守は浸透しているが、 終了後の運転停止が徹底できなかった。 実施できたことは継続し、終了後の運転停止 については記録を残す形で意識向上に繋げる。	
	加熱機器の始業余熱時間厳守、 終了後の運転停止。	×		
ガス燃料による二酸化炭素削減 ※ガス燃料とは「都市ガス・L P ガス」			7 二酸化炭素削減 削減率向上	13 環境負荷低減 削減率向上
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	蒸気・冷温水配管の保温強化	×	保温強化については、破損部分についての交換実施 はあったものの、新規箇所への設置には至らなかった。 加熱機器の始業余熱時間厳守は浸透しているが、 終了後の運転停止が徹底できなかった。 保温強化について、個所数を決め、確実な実施に繋げる。。	
	加熱機器の始業余熱時間厳守、 終了後の運転停止。	×		
排水量の削減			6 排水量削減 削減率向上	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	節水ノズルの設置	○	節水ノズルの新規設置を実施。 水道コマについても、各課で意識が高まり、 交換も部署ごとに行えるまでになった。 次年度も引き続き実施継続。	
	水道コマの交換	○		
プラスチック類（産廃）の削減			12 資源循環 削減率向上	14 環境負荷低減 削減率向上
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	分別の徹底	○	紙類の分別回収の強化をじっし。また、小さな段 ボール片についても分別が出来る様になってい る。 引き続き分別廃棄の徹底を行う。	
	再資源化先の開拓	○		
食品廃棄物（産廃）の削減			12 資源循環 削減率向上	
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
取組	原材料発注量の精度アップ	○	在庫管理の精度が上がったことで発注精度も上が り、発注量もコントロールできている。 ロスPJを中心に今後もロスの削減を進める。	
	加工ロスの削減	○		

東広島工場 E A 2 1 事務局

東広島工場の活動

(1) 工場周辺の清掃活動継続

会社の周囲の環境美化活動及び地域貢献活動として、2021年7月よりスタート
2024年度は清掃活動を10回実施し、回収したごみは平均約15kg/回（合計約150kg）
ごみは全て分別して廃棄処分しました。



(2) 動植物性残渣の排出ゼロ化のためのバイオマス処理施設

工場で発生する動植物性残渣をメタン発酵により処理し、残渣の工場外への排出
をゼロにして、焼却処分の削減やCO₂削減に貢献します。

この取り組みは、広島県の「令和3年度 広島県廃棄物排出抑制・リサイクル施設
整備費補助金」に公募・採択された事業で、現在も順調に処理を行っています。



2025年2月末現在で年間累計
動植物性残渣処理量 473トン
発電量 107千kWh
CO₂削減量 55t-CO₂
※中国電力 調整後排出係数0.520t-CO₂/千kWh

東広島工場 E A 2 1 事務局

東広島工場の活動

3. 「地域の要望を大切に」

地域の小学校から「地元にはかない物や場所・魅力を見つける学習」で、児童から名前が挙がった当社に協力依頼があり、社会科見学の一貫で工場見学を実施しました。



Happy Together

“おいしい”は



たくさんの人をハッピーにできる！

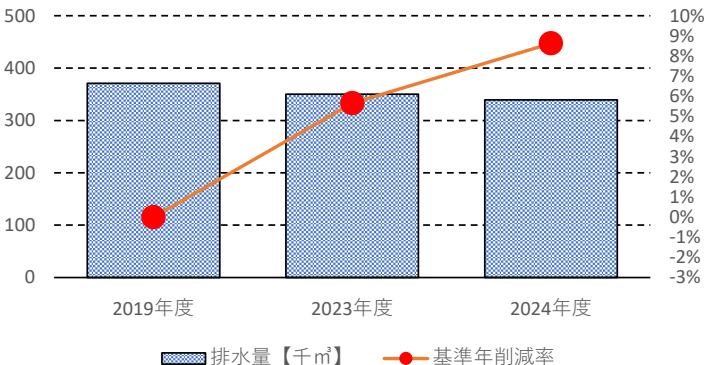
東広島工場 E A 2 1 事務局

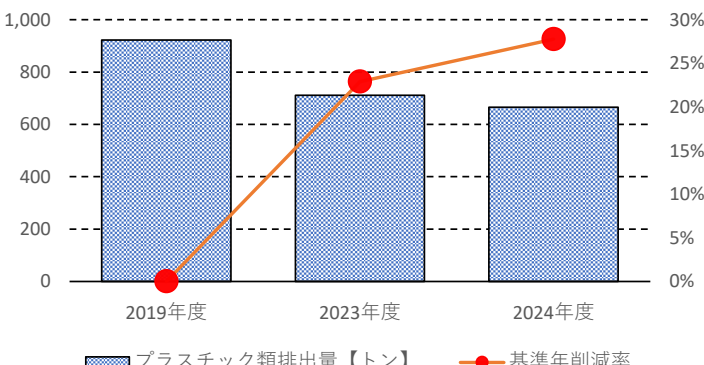
環境経営計画の取り組みと結果とその評価、次年度の計画

※基準年度：2019年度、実績：2023年度・2024年度

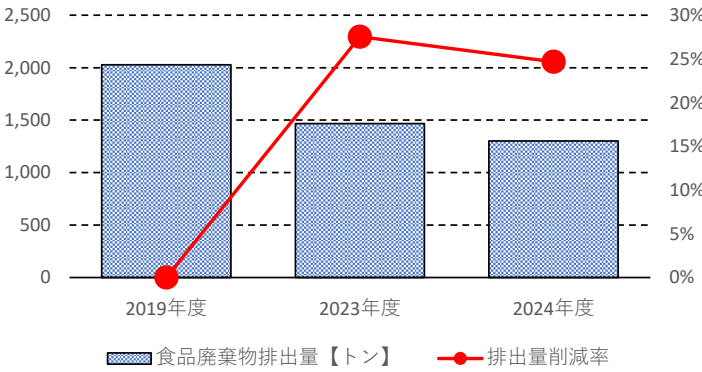
電気による二酸化炭素削減					7 太陽エネルギーを最大限に活用してCO2削減		13 気候変動に具体的な対策を	
環境経営計画				達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容			
取組	生産終了後の生産機器電源OFF			○	電気原単位は目標未達、二酸化炭素排出量削減はCN電気を購入して目標を達成できた。次年度も継続して活動に取り組む。			
	生産終了後の部分消灯			○				
				12,000 10,000 8,000 6,000 4,000 2,000 0 2019年度 2023年度 2024年度 CO2排出量【t-CO2】 基準年CO2排出量削減率				

※基準年度：2019年度、実績：2023年度・2024年度

排水量の削減					6 安全な水とトイレを世界中に 													
環境経営計画				達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容													
取組	朝礼、掲示物による意識向上			△	排水原単位は目標未達。次年度も継続して水漏れ箇所の早期発見および修理活動に取り組み、排水量の削減を図る。													
	生産現場にて節水の呼び掛け			△														
<table><tr><td></td><td>2019年度</td><td>2023年度</td><td>2024年度</td></tr><tr><td>排水量【千㎡】</td><td>371</td><td>350</td><td>339</td></tr><tr><td>基準年削減率</td><td>—</td><td>5.7%</td><td>8.6%</td></tr></table>					2019年度	2023年度	2024年度	排水量【千㎡】	371	350	339	基準年削減率	—	5.7%	8.6%			
	2019年度	2023年度	2024年度															
排水量【千㎡】	371	350	339															
基準年削減率	—	5.7%	8.6%															

プラスチック類（産廃）の削減					12 つくる責任つかう責任  14 海の豊かさを守ろう 													
環境経営計画				達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容													
取組	作業ミスによる廃棄物の削減			○	プラスチック廃棄物排出量原単位は目標達成。次年度も継続して活動に取り組む。													
	朝礼、掲示物による意識向上			○														
<table><tr><td></td><td>2019年度</td><td>2023年度</td><td>2024年度</td></tr><tr><td>プラスチック類排出量【トン】</td><td>922</td><td>711</td><td>666</td></tr><tr><td>基準年削減率</td><td>—</td><td>22.9%</td><td>27.8%</td></tr></table>					2019年度	2023年度	2024年度	プラスチック類排出量【トン】	922	711	666	基準年削減率	—	22.9%	27.8%			
	2019年度	2023年度	2024年度															
プラスチック類排出量【トン】	922	711	666															
基準年削減率	—	22.9%	27.8%															

※基準年度：2019年度、実績：2023年度・2024年度

食品廃棄物（産廃）の削減							12 つくば食品 つかう食品 													
環境経営計画				達成状況		取組結果とその評価、次年度の取組内容														
取組	作業ミスによる廃棄物の削減			○		ロス削減などの取組みで食品廃棄物排出量原単位は改善できた。次年度も継続して活動に取組む。														
	朝礼、掲示物による意識向上			○																
<table><tr><td></td><td>2019年度</td><td>2023年度</td><td>2024年度</td></tr><tr><td>食品廃棄物排出量【トン】</td><td>2,026</td><td>1,468</td><td>1,301</td></tr><tr><td>排出量削減率</td><td>－</td><td>27.5%</td><td>24.7%</td></tr></table>					2019年度	2023年度	2024年度	食品廃棄物排出量【トン】	2,026	1,468	1,301	排出量削減率	－	27.5%	24.7%	 2019年度 2023年度 2024年度 食品廃棄物排出量【トン】 排出量削減率				
	2019年度	2023年度	2024年度																	
食品廃棄物排出量【トン】	2,026	1,468	1,301																	
排出量削減率	－	27.5%	24.7%																	
洗剤等（化学物質）使用量の削減																				
環境経営計画				達成状況		取組結果とその評価、次年度の取組内容														
取組	適正使用量の厳守			○		次年度も継続して洗剤等の使用量を把握、適正使用を継続する。														
	安全で安心な商品の提供			○																

※基準年度：2019年度、実績：2023年度・2024年度

製品への環境への取組			
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組	消費期限延長	○	次年度も取組み内容を把握をして、改善を継続する。
	容器包材のプラスチック削減	○	
環境に配慮した物品の購入			 
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組	省エネ性能の高い設備の導入	○	次年度も設備検討時に省エネ性能の判断ができる仕組み作りを継続して進める。
当社は、広島県の「2050ネット・ゼロカーボン」の実現に向けた取組の一環として発行された、令和4年度第7回グリーンボンドを購入、環境プロジェクトに賛同を表明いたしました。			
			

※基準年度：2019年度、実績：2023年度・2024年度

環境に配慮した生産活動			12 つくるも消費 つなぐ食生活 
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組	ご指摘（お客様からのお申し出）の削減	○	次年度も取組み内容を把握をして、改善を継続する。
	良品製造推進	○	
「地産地消」は、消費者の食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取組みです。当社では具体的には次のようなことを実施しています。 ①地域で馴染みのあるメニューの開発 ②地域で消費の高い原材料の取組み ③地域で生産されている原材料メーカーとの取組み これらの取り組みを通じて、地域のお客様、取引先の原材料メーカー、そして私たち自身がHappyになること。それが、デリカウイングの目指す「地産地笑」です。 2024年度は、前年度比2.2倍となる77件の提案を行い、そのうち65件が商品化されました。			
社会貢献活動			3 すべての人に健康と福祉を  4 質の高い教育をみんなに  5 ジェンダー平等を促進しよう  17 パートナーシップで目標を達成しよう 
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組	工場周辺の清掃活動	○	工場周辺の清掃活動を継続、次年度も活動を継続する。
当社では、工場周辺の学校からの見学を継続的に受け入れています。 また、2023年度より再開した、日頃よりご協力いただいている従業員とそこご家族・お子様、工場周辺の皆様をお招きして「工場夏祭り」、さらに夏祭りに合わせて開催される「子供参観日」も、盛大に実施されました。			

**環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果、
並びに違反・訴訟等の有無**

関連する法規・確認事項

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物の収集・運搬（契約書・許可証、保管状況等） 産業廃棄物の収集・運搬、処分（契約書・許可証、保管状況等） 看板の設置（設置状況、記載内容、連絡先明記等） マニフェスト伝票の記載漏れ、保管状況 処分場の現地確認 産業廃棄物管理票の交付等状況報告の作成・提出（6月30日まで） 多量排出事業者の処理計画等の報告の作成・提出（6月30日まで）
食品リサイクル法	定期報告書の作成、提出
騒音規制法	ブロアー、圧縮機、送風機等の設置届出
振動規制法	ブロアー、圧縮機、送風機等の設置届出
水質汚濁防止法	特定施設設置届出 排水水質濃度測定記録
下水道法	使用開始届出 除害施設設置届出
浄化槽法	設置・変更の届出 保守点検、清掃、記録の保管（3年間） 定期検査（指定検査機関の検査）
消防法（危険物）	消防設備点検表、各届出 避難訓練の実施、記録（年1回以上）
毒物及び劇物取締法	保管場所での施錠、安全データシート(SDS)の保管
化学物質排出把握管理促進法	対象化学物質を排出量の把握、報告
フロン排出抑制法	点検、整備記録（有資格者による定期点検） 点検、整備記録（簡易点検） フロン引取、回収証明書 算定漏洩量の報告
省エネ法	エネルギー管理士・員の選任、届出 エネルギー管理標準の作成・保管 定期報告書の作成・提出（7月31日まで）
温暖化対策推進法	対策計画書の作成・提出 実績報告書の作成・提出（7月31日まで）

本社・各工場確認結果

適用される法規制	本社・広島工場	岩国工場	デザート工場	東広島工場
廃棄物処理法	○	○	○	○
食品リサイクル法	○	○	○	○
騒音規制法	○	○	○	○
振動規制法	○	○	○	○
水質汚濁防止法	○	○	○	○
下水道法	○	—	○	○
浄化槽法	—	○	—	—
消防法（危険物）	○	○	○	○
毒物及び劇物取締法	○	○	○	○
化学物質排出把握管理促進法	○	○	○	○
フロン排出抑制法	○	○	○	○
省エネ法	○	○	○	○
温暖化対策推進法	○	○	○	○

2024年度は法律違反・訴訟等はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2025年4月10日

当社は環境問題に対する取り組みとして、省エネルギー活動、フードロス削減、廃棄物リサイクルなどを行ってまいりました。これらの活動をより具体的にかつ継続的に取り組むため、工場単位ごとにエコアクション21推進委員会や各種改善プロジェクトで計画・実行・評価・改善を繰り返しました。成果がでている項目もありますが、残念ながら生産数量が昨年比で6%減少しております。そのため、生産数量当りの原単位が悪化しております。

このような現状を把握した上で、次年度に対する目標数値を設定し、全社一丸となって共通認識のもと目標達成にむけて努力してまいり所存です。

本活動を通し、従業員一人一人が環境に対する問題意識を持ち、行動すること。企業としては継続的に成長のために責任を果たすこと。これらが社会の持続的な発展とステークホルダーの皆様の成長につながると考えております。

環境経営方針、経営目標、経営計画、実施体制に変更はありません。



デリカウイング株式会社